高齢者施設における虐待予防プログラムを用いた研修実施と効果検証

落合克能＊[1)]、松島範正[2)]、増田公基[3)]、鶴見俊輔[4)]、野中一臣[5)]

[1)]聖隷クリストファー大学、[2)]特別養護老人ホーム西之島の郷、[3)]介護老人福祉施設浜松中央長上苑
[4)]特別養護老人ホーム浜松十字の園、[5)]介特別養護老人ホームみずうみ

Ⅰ　背景と目的

高齢者施設従事者等による虐待は、近年増加の一途を辿っている。2015 年度に行政が虐待と認定した事件だけでも全国で 402 件発生しており、虐待予防は喫緊の課題

↓

高齢者施設の職員研修で実施しやすい「１回２時間程度」の虐待予防効果のある研修プログラムを開発する必要性がある。

↓

えんしゅう介護福祉サービス研究会※１の一部の世話人（筆者含む）が考案した**①虐待抑止要因構造化プログラム、②不適切ケアの再認識プログラム**（各２時間）の効果検証とプログラム内容および実施方法の改善等を目的とした研究を行った。

※１　筆者が世話人を務めている法人、施設の枠を超え、高齢者施設関係者が学び合う研究会

Ⅱ　研究方法

聖隷クリストファー大学倫理審査による承認（承認番号：18033）を受け、2018 年 10 月～2019 年２月に介護老人福祉施設３施設（静岡県西部）において**上記のプログラム①②**を用いて行った虐待予防研修後の参加者アンケートの結果を分析、考察した。

Ⅲ　研究結果

プログラム①および②全体を通しての【満足度】は、97.0%が「満足」、「まあ満足」と　回答しており、【虐待予防効果】に関しては、84.0%が「効果がある」「まあ効果がある」と回答していた。

プログラム①の【満足度】は、97.3%が「満足」、「まあ満足」と回答しており、【虐待予防効果】に関しては、86.5%が「効果がある」「まあ効果がある」と回答していた。また、【意識の変化】に関しては、97.3%が「あった」、「まああった」としていた。

プログラム②の【満足度】は、93.4%が「満足」、「まあ満足」と回答しており、【虐待予防効果】に関しては、81.3%が「効果がある」、「まあ効果がある」と回答していた。また、【意識の変化】に関しては、87.5%が「あった」、「まああった」と回答していた。

Ⅳ　考察・結論

本研究を実施したことにより、本虐待予防プログラムに関する効果検証を行うことができ、以下の１）～３）について把握することができた。

１）本プログラム①②は、ともに介護職員の虐待予防にかかわる意識の変化に寄与できる。

２）２つのプログラムをセットで行うことにより虐待予防効果が高まるが、「意識の変化が虐待予防につながる」ということをより実感できるプログラムに改善する必要がある。

３）プログラム②の満足度を高めるために、【不適切ケアの明確化】、【構造化の理解】、【プログラム進行における説明の分かりやすさ】に関する改善を行う必要がある。

上記２）および３）に関しては、研究機関中に改善した点もある。今後は、本研究結果をふまえたプログラム内容に関する改善を行った上で、継続的に効果検証のための研究を行い、さらに虐待予防効果のあるプログラムを地域の高齢者施設に提供したい。